

くらしの健康

令和6年6月 第66号



目次

○ いまだに脅威！マダニについて

○ ～ハンセン病について正しく知っていただくために～

オンライン講演会「ハンセン病問題を知っていますか」を配信中

いまだに脅威！マダニについて

「マダニ」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべますか？怖い、危ない、刺されるなど、おそらく良いイメージは無いでしょう。では、マダニはどのような特徴があって、私たちはどのように対策すれば良いのでしょうか？今回は、マダニの基本知識と、当センターで実施している生息状況調査の結果をお伝えします。

【大きさ】

右の写真(図1)は、日本全国に分布する種である、フタトゲチマダニの成虫です。マダニはダニ類の中では比較的大型であり、ハウスダストに含まれるチリダニが肉眼では確認できないことに比べると、その大きさの違いが良くわかります(図2)。



図1 フタトゲチマダニ成虫(メス)

【危険性】

マダニは山林や草むら、ヤブなどに生息しており、生息場所に近づいた動物や人に寄生し吸血します。刺咬そのものが被害であることに加え、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)などの感染症の媒介や、 α -Gal 症候群(マダニ刺咬を契機に、 α -Gal を含む牛肉等の喫食により起こるアレルギー症状)を引き起こすなどの危険があります。



チリダニ	フタトゲチマダニ	
成虫	幼虫	成虫(メス)
(約0.3mm)	(約0.7mm)	(約3mm)

図2 ダニの大きさの比較

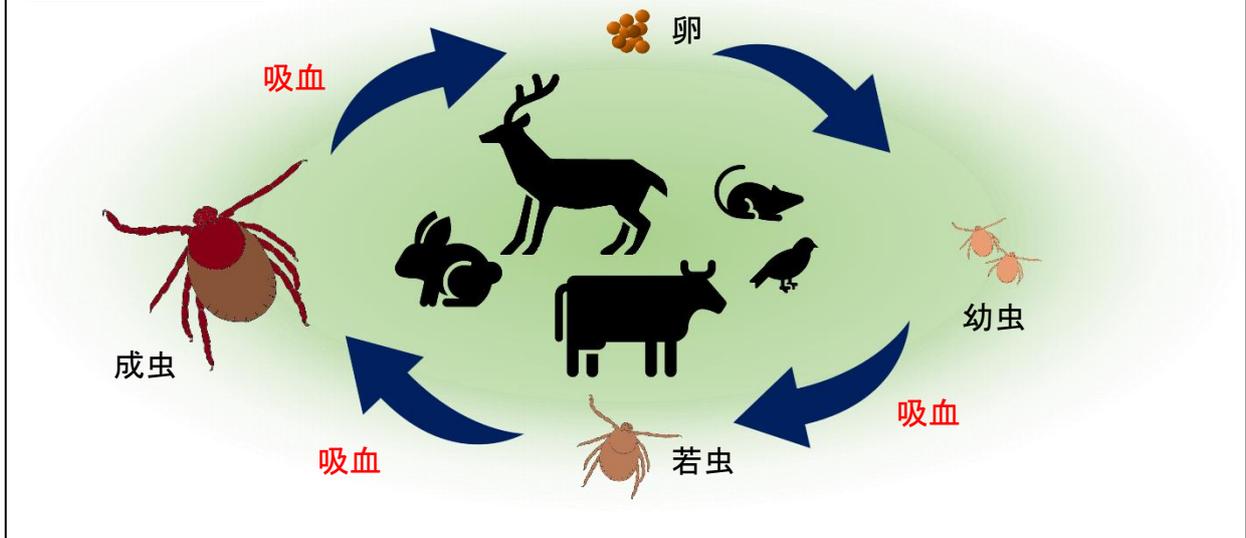
【形態】

マダニの体は、顎体部と胴体部からなり、「頭・胸・腹」がある昆虫と異なります(図3)。また、マダニは脚が8本ありますが、卵から生まれて1回目の脱皮をするまでの幼虫は脚が6本しかありません。これは、生まれた時から脚が8本あるクモと異なる点です。



図3 マダニ科チマダニ属幼虫

生活環イメージ図



【生活環】

多くのマダニは、図4のように植物や落ち葉に潜んで吸血対象の動物に出会う機会を待ち、そこに通りかかるなどして出会った動物の皮膚に付着して吸血します。

マダニの吸血は蚊の吸血と異なり、数時間から長いものでは10日以上かかります。このような長時間の吸血を宿主から振り落とされずに行うため、マダニは、宿主の皮膚に図5のようにギザギザした顎体部の一部(口下片)を差し込みます。そして、吸血する前に、皮膚内に注入したセメント物質と呼ばれる粘性の唾液を使って皮膚と顎体部を強く固着させています。やがて吸血が完了し、満腹になると自ら宿主から離れていきます。

メス成虫は吸血が完了すると2週間から1か月ほどで数百から数千個の卵を産みます(図6)。



図4 葉の裏についたマダニ



図6 産卵するフタゲチマダニ

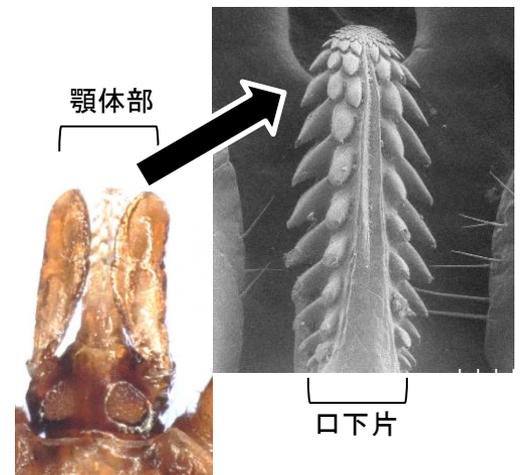


図5 ヤマトマダニの口下片

【都内での発生状況(令和5年度)】

当センターでは、平成28年度から、都内でマダニの生息状況実態調査を行っています。表は昨年度の調査結果です。この調査では、植物や落ち葉に潜むマダニをフランネル法(長い棒に白いフランネル布を装着し、地面や草地などで軽く引きずり、布に付着したマダニをピンセットで捕集する方法)で捕集しています。

調査した地点や季節により、捕集されるマダニの種類や数に違いはありますが、都内においても年間を通して様々なマダニが捕集されていることがわかります。マダニの調査結果は当センターのホームページで随時公開しています(URL: https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/lb_kankyo/madani/)。



表 東京都内でのマダニ捕集状況(令和5年度)

場所		地点A (多摩西部遊歩道)						地点B (多摩南部遊歩道)						地点C (区部河川敷)	
		4/13	6/6	8/8	10/3	12/5	2/13	5/19	7/4	9/12	11/14	1/9	3/5	5/22	12/11
種類 (匹)	採集日	4/13	6/6	8/8	10/3	12/5	2/13	5/19	7/4	9/12	11/14	1/9	3/5	5/22	12/11
	ヒゲナガチマダニ	38	7		1	718	268								
	オオトゲチマダニ	41	12		21	113	67				1		4		
	キチマダニ	36	33	7	14	32	6	59	6	235	551	121	547		
	フタトゲチマダニ	15	38	4	1				2					1	
	ヤマトチマダニ		2												
	チマダニ属	3													
	ヤマトマダニ	9						5	1					1	
	アカココマダニ													2	
	チマダニ属幼虫	30	8	605	769	35	1	1	1	383	9				
マダニ属幼虫				1							1			1	

【刺咬を防ぐ方法】

マダニに刺されないために、野山や河川敷などで野外活動を行う際は肌の露出を避けましょう(図7)。長袖・長ズボンを着用し、帽子や手袋などを利用するとよいでしょう。野外活動後はマダニが付着している可能性を考え、着用していた衣服を洗濯し、自身の体も洗い、マダニが付着していないか確認しましょう。

また、犬などの伴侶動物と一緒に暮らしている方は、伴侶動物に対してもマダニ対策を行うことが望ましいです。具体的には、動物病院でマダニ駆除の薬を処方してもらったり、野外活動を行った後に、ブラッシングやシャンプーをしたりするのがよいでしょう。

なお、マダニに刺されたと気がついた時は、なるべく早く医療機関を受診しましょう。マダニを無理に引っ張るなどして取り除くと、セメント物質によって皮膚に固着しているマダニの体の一部が皮膚の中に残ってしまう場合があります。医療機関で取り除いてもらいましょう。



図7 肌を露出しない服装の例

当センターホームページの「衛生動物写真館」では、
マダニをはじめとした衛生動物の写真を公開しています。
ぜひご覧ください！

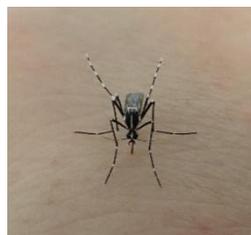
(URL: https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/lb_kankyo/mushi-photo/)



ジンサンシバンムシ



チャドクガ



ヒトスジシマカ



トコジラミ

(薬事環境科学部 環境衛生研究科)

○ お知らせ ～ハンセン病について正しく知っていただくために～ オンライン講演会「ハンセン病問題を知っていますか」を配信中

「ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律」の施行日である6月22日は「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」とされ、国や都道府県等でハンセン病に関する行事を行っています。

○オンライン講演会「ハンセン病問題を知っていますか」

- 1 [ハンセン病とは \(3分30秒\)](#)
- 2 [日本におけるハンセン病政策 \(11分\)](#)
- 3 [国立ハンセン病資料館のご紹介と残された課題 \(7分15秒\)](#)

講師：国立ハンセン病資料館事業部社会啓発課 学芸員 金 貴粉 氏

視聴方法：東京都公式動画チャンネル「東京動画」にて公開（令和6年12月27日まで）

※下記サイトからもご視聴いただけます。

【東京都健康安全研究センターホームページ(ハンセン病)】

<https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/center/gyouji/r06/r06hansen/>

※通信費は、視聴者様のご負担となります。



国立ハンセン病資料館
(同資料館 提供)



発行：東京都健康安全研究センター

住所：〒169-0073 東京都新宿区百人町三丁目24番1号

電話：03-3363-3231(代表) E-mail: tmiph@section.metro.tokyo.jp

H P: 東京都健康安全研究センター <https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

都内の環境放射線測定結果 <https://monitoring.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

花粉症対策のページ https://www.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/kj_kankyo/kafun/